
第6回 町田市地域公共交通会議 会議録

開催日時：2018年3月5日（月）13時30分～15時00分

開催場所：町田市庁舎3階 3-1会議室

出席委員：15名

傍聴人：1名

事務局：6名

【会議次第】

1. 開会
 2. あいさつ
 3. 議事
 4. その他
 5. 閉会
- *****

【議事】

➤ 承認案件

第1号議事 地域コミュニティバス「かわせみ号」のルート変更について

第2号議事 平成29年度生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）（案）

➤ 報告案件

（1）小山田桜台・多摩南部地域病院間ワゴン車運行事業の状況について

（2）相原地域における小型乗合交通の実証実験運行の状況について

【資料】

- 資料1-1 地域コミュニティバスかわせみ号の運行ルート変更について
- 資料1-2 道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条第2項に掲げる協議が調っていることの証明書
- 資料2-1 生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）（案）
- 別紙1 「かわせみ号」ルート図
- 別紙2 かわせみ号成瀬駅ルート 新ルートを検討するためのアンケート 調査結果
- 報告案件資料（1）小山田桜台・多摩南部地域病院間 ワゴン車運行事業について
- 報告案件資料（2）相原地域における小型乗合交通の実証実験運行の状況について
- 報告案件資料別紙1 あいはらシャトル丸山団地号 利用者数集計表

< 1. 開会 >

[定足数の確認]

(事務局)

本日は、15名の委員の方々にご出席頂いており、『町田市地域公共交通会議設置要綱』第6の3により、過半数の出席があることから有効に成立していることをご報告する。

[会議の公開]

(事務局)

この会議は、『町田市審議会等の会議の公開に関する条例』第3条の規定に基づき公開の対象となる会議である。会議の開催にあたり、条例に基づく告示とホームページ等により、傍聴のご案内を行った。本日の傍聴者は1名である。会議途中で傍聴の申し出があった場合、入室して頂くのでご了承願う。

< 2. あいさつ >

(省略)

< 3. 議事 >

承認案件

- 第1号議事 地域コミュニティバス「かわせみ号」のルート変更について

[資料説明]

資料1-1、資料1-2、別紙1、別紙2について事務局による説明（省略）

[意見等]

(東委員)

アンケートの回収率が約50%にとどまっているが、少し低いのではないか。もう一つ、アンケート結果で利用頻度が「月に2～3回」より「それ以下」とあるが、具体的にはどれくらいの頻度のことを示しているのか。

(委員)

アンケートの集計は私が担当した。「それ以下」については、「月に1回」や「半年に1回」というように回答に幅があったので、「それ以下」に集約させて頂いた。

(会長)

アンケートの回収率については、変更のある区間以外の方にも配布をしているので、50%というのは低くないと思われる。

[議決]

(異議無し)

- 第2号議事 平成29年度生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）(案)

[資料説明]

資料2について事務局による説明（省略）

[意見等]

(委員)

乗りやすいバス、利用しやすいバスを目指して事業者として努力している。ノンステップバスの導入には国から補助が出ているが、かつては市町村からも出ていた。町田市

の厳しい財政状況は理解しているが、ノンステップバス導入率100%の達成のためにも、町田市からの補助をよろしくお願ひしたい。

[議決]

(異議無し)

報告案件

(1) 小山田桜台・多摩南部地域病院間ワゴン車運行事業の状況について

[資料説明]

報告案件資料(1)について事務局による説明(省略)

[意見等]

(会長)

事業者から何かあるか。

(委員)

雪の日に乗り切れなかったという話が出たが、普段自家用車で送迎している家庭が利用したということだと思う。小田急線のダイヤ改正により唐木田から新宿への利用者の増加が見込まれる。現在はワゴン車で運行しているが、予備車両にも限界がある。早いうちには無理かもしれないが、道路改良などにより、小型バスないし中型バスが運行できるようにして頂きたい。

(委員)

利用率の高い時間には始発の停留所で満員になってしまい、途中の停留所で乗れないということがあるのではないかと思う。途中乗車の割合はどれくらいか。

(事務局)

バス停の利用状況について説明する。まずは小山田桜台発についてだが、小山田桜台が最も利用者が多く、次に清住平も多い。利用者の大半が小山田桜台から唐木田駅東まで利用する。反対側も同様に、多摩南部地域病院もしくは唐木田駅東から清住平や小山田桜台まで利用する方が多い。

(委員)

清住平で乗りこぼしが発生することはあったか。

(事務局)

降雪のあった日は乗りこぼしがあったがそれ以外の日は無い。道路の状況だが、忠生630号線の拡幅工事を道路部が計画している。現在は車道で6メートルほどの道路だが、歩道付きの12~13メートルほどの道路になる。今後、用地買収等に時間がかかるが、ゆくゆくは大型車に変えていきたいと考えている。引き続きよろしくお願ひしたい。

(委員)

今の道路の話については、別の場所に道路を通すというようなことも聞いていたが、既存の道路を拡幅することになったということではどうか。

(事務局)

道路部からそう聞いている。

(2) 相原地域における小型乗合交通の実証実験運行の状況について

[資料説明]

報告案件資料(2)について事務局による説明(省略)

[意見等]

(委員)

地元からは早く運行してくれると助かるという声を聞いている。ぜひ前向きに検討してもらいたい。

(会長)

片道0.9人なので往復だと2人弱くらいが乗っていることになる。もう少し周知が進んで、現在の1.5~2倍くらい乗車してもらおうとちょうどよくなるのかなと思う。

<4. その他>

[意見等]

(会長)

議事は以上になる。委員から報告や意見はあるか。

(委員)

全国のバス会社共通の悩みであるが、当社でも運転士が不足している。その中で長時間労働是正のために、労働生産性向上に向けたダイヤ改正を5月末に予定している。このダイヤ改正により輸送力調整を行い、1台あたりの乗車効率を高めたい。具体的には運行本数が多く重なってしまっているところを削ることになる。本数が多い藤の台団地や山崎団地、函師経由野津田車庫行きなどが対象になるかと思われる。地域の利便性向上のために努力しているが、当社にも労働基準監督署から指導が入っており、ご理解頂きたい。詳しいダイヤ改正の日程や内容については、事務局を通じて情報提供する。

(委員)

ノンステップバスの導入は有効な手段だが、停留所との間隔が大きいとノンステップバスの意味が無い。これはお願いになるが、できるだけ停留所との間隔が開かないように停めて頂くと高齢者にとってありがたい。

(会長)

事務局から報告等あるか。

(事務局)

次回第7回の日程は現在のところ未定。事業の進捗状況を鑑み、開催の1か月程前には通知させて頂くのでよろしくお願いしたい。

<5. 閉会>

町田市地域公共交通会議 会長

岡村敏之